

開催概要

第14回海ごみサミット 2016 三重会議

■海ごみサミットについて

海洋ごみ問題のさまざまな情報共有と、対策推進のために、年一回開催している全国規模の会議です。毎回、開催地を変え、国や自治体などの行政関係者、NGO/NPO、民間事業者、研究者、住民などが一堂に会し、海外からのゲストとともに、各地の課題や状況の共有、具体的な対策についての意見交換をしています。今回は、2008年の鳥羽会議について2回目となる三重県で開催いたします。

■開催の背景と趣旨

2010年にCOP10/生物多様性条約第10回締約国会議が名古屋市で開催されました。2020年までの個別目標を定めた「愛知目標」と、日本の取り組みについての「生物多様性国家戦略 2012-2020」が定められましたが、海洋ごみ問題はそれほど大きな課題として認識されていませんでした。

一方、G7サミットでは、ドイツのエルマウで開催された2015年に、プラスチックごみによる海洋汚染が世界的課題となっていることが、初めて首脳宣言に明記され、付属書には課題に対処するための行動計画が盛り込まれました。さらに今年5月のG7伊勢志摩サミットの首脳宣言では、「我々は、3Rに関する我々の取組が、陸域を発生源とする海洋ごみ、特にプラスチックの発生抑制及び削減に寄与することも認識しつつ、海洋ごみに対処する」として、前年からのコミットメントを継承しています。

第14回海ごみサミット 2016 三重会議では、こうした動向を踏まえて、①生物多様性と海洋ごみ、②プラスチックごみの海洋への流出防止、③北太平洋地域の連携、の3つのテーマについて討議を行います。

■開催日及び会場

○開催日 2016(平成28)年 **10月28日(金)～30日(日)**

○会場 10/28～29 全体会議：伊勢市観光文化会館（三重県伊勢市岩渕1-13-15）

（JR伊勢市駅より徒歩約5分、近鉄宇治山田駅より徒歩約1分）

10/30 海岸清掃・意見交換など：鳥羽市答志島 奈佐の浜海岸、鳥羽市立桃取小学校

○定員 10/28～29は150名 10/30は50名（いずれも先着順）

※1 討議に参加を希望される方は事前申し込みをお願いします。

※2 30日については、答志島に渡る船の定員数などのために、先着50名までの受付となります。

お申込いただいても、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

○資料集(予稿集) 希望者には、会場受付にて1,000円で頒布いたします。

■主催等

○主催 一般社団法人JEAN、三重県

○共催 鳥羽市、22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会

○後援 伊勢市、環境省、国土交通省、海上保安庁水産庁、国連環境計画北西太平洋地域海行動計画、漂着物学会、公益財団法人日本離島センター、全国離島振興協議会、全国離島振興三重県支部連絡協議会、全国離島振興鳥羽協議会、三重県漁業協同組合連合会、伊勢湾総合対策協議会海岸漂着物対策検討会

○協力 海の博物館、特定非営利活動法人パートナーシップオフィス

■ プログラム(予定) (敬称略)

開催日程		内 容
10/28 (金)	08:30	開 場 (受付開始)
	09:00	開会
	09:25	海ごみサミットの経緯とこれまでの取り組み JEAN
	09:40	日本政府における海洋ごみ問題への取り組み 環境省海洋環境室
	09:55	三重県における海洋ごみ問題への取り組み 三重県大気・水環境課
	討議テーマ1 生物多様性と海洋ごみ	
	《報告1》 マイクロプラスチックによる海洋汚染の現状	
	10:15	【講演①】 マイクロプラスチックによる海洋汚染 東京農工大学教授 高田秀重
	10:55	【講演②】 マイクロプラスチックによる汚染の現状～世界の渦流を調査して 5Gyres 研究所 マーカス エリクセン
	11:45	【報告】 河川流水中のマイクロプラスチック調査 東京理科大学教授 二瓶泰雄
	11:55～ 昼 食	
	《報告2》 生態系保護の観点からみた海洋ごみ	
	13:00	全討議・コーディネーター/ 人と組織と地球のための国際研究所 川北秀人 2-① 日本/ 九州大学大学院工学研究院准教授 清野聡子 2-② 韓国/ OSEAN ホン ソヌク 2-③ 台湾/ 荒野保護協会 フウ ジェイソン 2-④ 米国/ ハワイ・ワイルドライフ・ファンド ミーガン ラムソン
	15:00～ 休 憩	
	《報告3》 沿岸・海洋域における取り組み	
	15:15	3-① 日本/ 海の博物館 石原義剛 3-② カナダ/ バンクーバー水族館 ケイト ル スーフ 3-③ 日本/ 水産庁漁場資源課 竹川義彦 3-④ 中国/ 福建省環保志願者協会 黄 厚新
	17:00	終 了
18:00	交流懇親会 (会費制 定員 80 名)	
討議テーマ2 プラスチックごみの海洋への流出防止と削減		
10/29 (土)	09:00	開 場 ・ビデオ上映 (震災漂流物関連) Debris/ピーター クラークソン、アラスカ台船プロジェクト
	《報告4》 プラスチックの使用削減	
	09:30	【講演】 EUにおけるレジ袋削減 サーフライダーファウンデーションEU アンティディア シトレス
10:10	4-① 米国/ コクア・ハワイ・ファウンデーション ドーラエ シン 4-② 台湾/ 台湾環境情報協会 林 育朱 4-③ 日本/ 三重大学人文学部教授 朴 恵淑 4-④ 日本/ 日本プラスチック工業連盟 岸村小太郎 4-⑤ 日本/ 調整中	

10/29 (土)	12:00～ 昼 食	
	《報告5》 流域(陸域)からの流出防止	
	13:00	5-① 日本/ 国土交通省河川環境課 堂菌俊多 5-② 日本/ 全国川ごみネットワーク 伊藤浩子 5-③ 日本/ パタゴニア日本支社 篠健司 5-④ 日本/ 横浜ゴム株式会社 大見勝春
	14:20～ 休 憩	
	《報告6》 海岸での回収活動と国際連携	
	14:30	6-① 日本/ 22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 森 一知 6-② 米国/ アラスカ湾の番人 クリス パリスター 6-③ 韓国/ OSEAN イ ジョンミョン 6-④ 中国/ 上海仁渡海洋公益発展中心 劉 永龍 6-⑤ 国際/ ワールド・オーシャン・コレクティブ ジョン シュミット
	16:10～ 休 憩	
	16:20	グループ討議 ※3つの報告の報告者と、参加者が8～10名のグループに分かれて討議し、 行動提案のとりまとめを行う
	17:00	行動提案の発表
	17:30	全体討議のまとめ
18:00	閉 会	

10/30 (日)	討議テーマ3 北太平洋地域の連携に向けて～鳥羽アピール		
	09:30	鳥羽 マリンターミナル集合、出発	
	午前中	答志島 桃取 奈佐の浜にて海岸清掃	<海ごみアート製作> 会場 桃取小学校教室 漂着物アーティスト ピーター クラークソン キム ジファン 小中学生(希望者)
	12:00～ 昼 食		
	13:00	北太平洋地域の連携に向けた意見交換 (桃取小学校体育館) 三重県知事 鈴木英敬 鳥羽市長 木田久主一 22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 森 一知 鳥羽磯部漁業協同組合 小浦嘉門 アラスカ湾の番人 クリス パリスター OSEAN ホン ソヌク ハワイ・ワイルドライフ・ファンド ミーガン ラムソン JEAN 小島あずさ ほか	作品披露
	14:45	鳥羽アピール発表 閉会	
	答志島出発 鳥羽へ		